

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	屋内での活動が中心となり、利用者の外出機会が減っている。また、それに至る個々の思いに寄り添ったアプローチが不足している。 *とくだん、コロナ禍につき、通院などを除いては、外出できていない状況が長期に及んでいる。	利用者の思いを捉えること、エンパワーメントを引き出すことで、地域資源の活用も含めたホーム外での活動が増える。また、多様化を図る。 *コロナ禍においても入居者のニーズが叶い、いきいきと生活できる。	アセスメント力の向上、ご家族や地域住民への協力、外出時間を捻出するための業務改善の工夫。 *敷地内での散策や園芸など、自施設の環境を生かした活動及び、感染対策に配慮した屋内での活動支援を工夫する。	12 か月
2	35	かねてより、一般的な防災マニュアルは整備しているが、形骸化しがちである。また、コロナ禍もあり、消防、近隣住民など地域と連携した訓練が行っていない。防災用品や備蓄食材の整備も不十分である。	来たるべき大地震に備えるべく、自然災害発生時における業務継続計画(BCP)を策定し、それに基づいた平素の備え、シュミレーションに努める。	喫緊の課題として、個々の職員への啓発及び早急なBCP策定のため、ホームにおける問題点の洗い出し、対応の検討を行う。地域や行政、併設老健施設との連携強化を図る。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。